

『GQ JAPAN』2009年12月号(10月24日発売)特集

世界初、独占取材！ F1王者ジェンソン・バトン & 道端ジェシカ

— 男たるもの、知性も品も、欲も持て。知的肉食系でいこう！ —
— 生誕60年、没後20年。時代が求める肉食レジェンド、松田優作。 —



本質にこだわる男性のためのクオリティ・ライフスタイルマガジン『GQ JAPAN』12月号(10/24発売)では、先日のブラジルGPでF1年間王者に輝いたジェンソン・バトンと、ガールフレンドの道端ジェシカの噂のカップルが表紙を飾ります。独占インタビューでは、F1王者への道のりに加え、誤報が続く二人の出会いや、気になる結婚について、『GQ JAPAN』だけに真実を語ってくれました。

また、巻頭特集では、草食系男子が増加する中、敢えて知性と肉食の心を併せ持つ男＝“知的肉食系”を目指すべきだと考えます。時代が求める進化系の肉食男とは何なのか、国内外の著名人や、現代女性が求める男性像、「社長島耕作」や、韓国人男性などを例にひも解きます。その他、生誕60年、没後20年を迎える松田優作さんを特集。男性の草食化が進んでいるといわれる今、松田優作さんの“肉食”な生き方に注目します。

◆ ジェンソン・バトン&道端ジェシカ。世界初、独占カップルインタビュー！

F1年間王者に輝いたジェンソン・バトン。ホンダチームに所属していたバトンは、昨年末のホンダの突然のF1撤退発表から、開幕直前に新チーム・ブラウンGPで参戦することが決まり、初戦から戦略的なレース運びで勝利を重ね、総合優勝できたのは、チームの結束のおかげだという。また、世界中が注目する、ガールフレンドのジェシカとの出会いから恋人になるまでの出来事や、結婚についても、語ってくれました。

また、ブラックのスーツ姿のバトンと、ウェディングドレスのような衣装や、バトンがジェシカに贈ったという時計を身につけたジェシカが、リラックスしながら寄り添う様子を収めたポートレートも併せて掲載します。



◆ 男たるもの、知性も品も、欲も持て。知的肉食系でいこう！

男性の草食化が進んでいるといわれる中、時代を動かす男は結局肉食だと、GQは結論付けました。著書『平成男子図鑑』で草食系男子の存在を説いたコラムニストの深澤真紀さんとともに、新型肉食を5つに分類した結果、イチロー選手や、オバマ大統領、鳩山首相、ブラッド・ピットなど、世界で活躍している面々が該当しました。国内外の著名人や、現代女性が求める男性像、「社長 島耕作」や、韓国人男性などの例をもとに、時代が求める知的肉食系の生き方に迫ります。

◆ 生誕60年、没後20年。時代が求める肉食レジェンド、松田優作。

生誕60年、没後20年を迎える松田優作さんの肉食な生きざまに再び注目が集まっています。節目を迎える今年、妻・美由紀さんが総監修をつとめるドキュメンタリー映画『SOUL RED 松田優作』や、彼を敬愛するアーティストたちが一堂に会したライブなど、知られざる真の姿を蘇らせるプロジェクトが始動しています。辻仁成さんによる寄稿や、俳優の永瀬正敏さん、竹中直人さん、ミュージシャンの谷中敦さん、中村達也さんらのコメントとともに、大胆不敵で骨太でストイックかつ型破りな生き方を貫いた松田優作さんの魅力に迫ります。

◆ その他、『GQ JAPAN』12月号の特集は、以下の通り。

- ・キメの一皿はやっぱり肉。プロ直伝、自宅でできる牛肉レシピ。
- ・吉田栄作が実践！いつかは買いたいが、いよいよ身近に。カシミアコート、買いは今。
- ・クリス・ヴァン・アッシュ完全監修。＜ディオール オム＞、ネオ・エイティーズの世界。
- ・【別冊付録1】GQ WEDDING 男が結婚式を楽しむ時代がやってきた。「GQ婚」のススメ。
- ・【別冊付録2】GQ jetsetter 魅力再発見、北九州の旅。

【GQ JAPAN】

米国コンデナスト社が発行する男性誌『GQ』の日本版。知性・品性・感性を備え、本質にこだわる男性のためのクオリティ・ライフスタイル誌として、2003年創刊。時代に影響を与えた各界の男性リーダーたちを毎年年末に表彰する「GQ Men of the Year」も好評。今年創刊6周年を迎えた。

編集長代理： 軍地彩弓（ぐんじ さゆみ） / 発売： 毎月24日 / 定価： 580円（税込） / 発行： コンデナスト・ジャパン

インターネットへの掲載の場合

次のURLを掲載の上、リンクしてください。 www.gq.com（最新号情報は、10/24（土）更新）

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

GQ JAPAN マーケティング部 担当：田中 TEL： 03-5485-9152 FAX： 03-5766-3010